



FEMA



ハリケーンサンディ 基本洪水標高勧告 (ABFEs)

地域がハリケーンサンディの壊滅的な影響から回復し始めたので、過去の経験から学び、将来の洪水に構造がより強く、より安全に、脆弱でなく再構築することを確認し、代償措置を採用することが重要です。

ハリケーンサンディより前に、全米洪水保険制度 (NFIP) の管理者として連邦危機管理庁 (FEMA) が、洪水保険料率地図 (FIRMs) を更新するためにニュージャージー州とニューヨーク州の海岸線の区域を再調査しました。更新されたこれらのマップは、2013 年半ばには州および地方の当局者に配布されるように設定されていました。これらの地域のために FIRMs ができてから 25 年以上前から開発され、FIRMs を更新することはまだ完了していないので、それは復興努力を支援するため、短期的な基本洪水標高勧告を (ABFEs) を提供することが不可欠なのです。ABFEs は、科学と工学に基づいたもので、より最近のデータ、既存の FIRMs と比較する改善研究方法論から引き出しています。ハリケーンサンディを含む最近の嵐の評価に基づいて、FEMA は、基本洪水標高が既存の FIRMs が十分に現在の沿岸洪水危険リスクを反映していないと判断しました。多くの場合、ABFEs は、現在の規制の FIRMs よりも高い洪水標高を反映しています。資産および会社所有者は、再建努力のために ABFEs を使用するためのすべての要件をよく理解するため、彼らの地元の建造物を確認する必要があります。

ABFEs は、次の地域のコミュニティで利用できるようになります：

- ニュージャージー州：アトランティック、バーゲン、バーリントン、ケープメイ、エセックス、ハドソン、ミドルセックス、モンマス、オーシャン、ユニオン
- ニューヨーク州：ブロンクス、キングス、ニューヨーク、リッチモンド、クイーンズ、ウェストチェスター。

参照

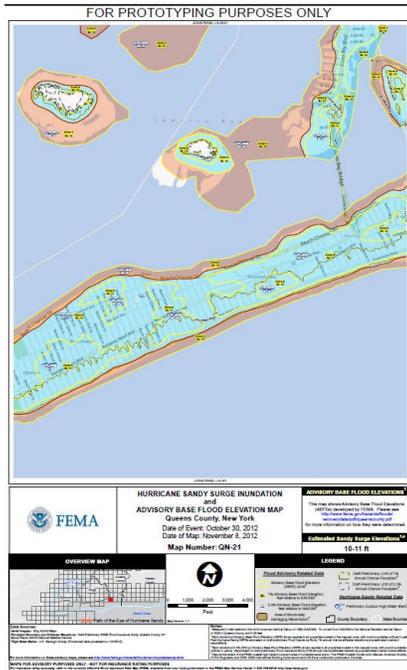
- ハリケーンサンディリカバリーについてのより詳しい情報は、以下を参照してください：www.fema.gov/sandy
- 災害援助を申請するには、以下を参照してください：<http://www.disasterassistance.gov/>
- 基本洪水標高勧告に関するその他の情報は、FEMA の地域 II の沿岸のウェブサイト上で 2012 年 12 月に利用できるようになります
www.Region2Coastal.com
- ご質問、洪水保険と基本洪水標高勧告に関する情報は 1-800-427-4661 国民洪水保険プログラムヘルプセンターまでお問い合わせ下さい。
- より安全で強く、構築する方法を学び、あなたの洪水保険料を低くするには、以下のサイトを訪問し、ハリケーンサンディ後復興を支援するために FEMA の建築科学リソースファクトシートをダウンロードして下さい。
<http://www.fema.gov/library/viewRecord.do?id=6651>
- あなたが災害防災の助成金や融資の対象となるかを確認するには、以下を参照してください：www.fema.gov/hazard-mitigation-assistance
- 国家洪水保険プログラムの詳細について、又は、保険代理店を見つけるには、以下を参照してください：
www.FloodSmart.gov or call 1-888-229-0437
- 地域の建築基準法、及び、必要な許可の詳細については、お住まいの地域の職員にお問い合わせください。

これらの領域の地理空間データ層と地図は、2012年12月のFEMA地域IIの沿岸ウェブサイト、www.Region2Coastal.comを介して利用できるようになります。この情報は、連邦、州、地方の役人に情報を提供し、再構築について情報に基づいた意思決定を行い彼らを支援するためのガイダンスとなるでしょう。

ABFEsは、ハリケーン・カトリーナ（2005年）後の再建の取り組みに有効に利用されていました。家庭および会社所有者により高く、安全に、再構築するようにルイジアナ州とミシシッピ州の多くの地域を導いたABFEsを採用し、いくつかのケースでは、危険性の高い地域における保険契約者のための洪水保険の保険料の割引が得られました。

ニュージャージー、ニューヨーク、連邦、州および地方の当局者は、建設業者、建築家、保険の専門家、資産、会社所有者が再建について情報に基づいた意思決定を行い、将来の洪水の影響を軽減するために、ABFEsを使用すべきです。

ABFEsを利用しないという選択は、将来の洪水リスクを軽減するための重要な機会を逃すこととなるでしょう。さらに、NFIPの評価システムコミュニティに参加している地域は、高リスク地域における保険契約者の保険料割引の結果、NFIPの最小要件よりも高い基準を採用するためのクレジットを受け取ることができます。



ABFEs prototype for illustrative use only

NFIP 保険契約者はまた、将来の保険料率に影響を及ぼす可能性がある最近の法律を知っておく必要があります。NFIP ための 2012 年の Biggert-ウォーターズ洪水保険改革法は、NFIP に洪水保険の補助金や割引を排除し、実際の洪水リスクを反映した率を増加することを要求しました。これらの規定は、NFIP の要件に準拠していない資産への率に影響を与える重要な将来、及び、基本洪水上昇が著しい保険料の増加を引き起こすかもしれません。ABFEsを開発するために利用する情報は、FIRMを更新するために利用されるものの一部になるでしょう。保険料率は上昇せず、改訂ベース洪水標高が地方自治体によって、再検討、意見、適合されるまで、必須の購入要件は適用されません。

コミュニティは、より安全に、強く、そして将来の洪水に対し、脆弱性減少を利用して再構築するため

ABFEsを使用するよう奨励されます。信頼性が高くタイムリーな洪水危険データを提供することは、FEMAが意思決定者に、ニューヨークとニュージャージー州沿岸のコミュニティが、この壊滅的な出来事をきっかけに、より賢く、より強く回復することを確認することに役立つ唯一の方法なのです。



ABFEsに関する追加情報については2012年12月www.Region2Coastal.comをご覧ください。更に、資産と会社所有者が、再建にABFEsを使用するための要件をより良く理解するために彼らの地元当局者と連携することはとても重要です。資産、及び、会社所有者が今する決断は、彼らの家族や会社のために、より安全で、より強い未来を提供することに役立ちます。

建築する前に、資産、会社所有者は自分の家や建物のために必須標高の決定のために、地方政府職員に相談することが必要です。